

れいわ 2 ねんど だい がつきしゅうぎょうしき こうちょう はなし しょうちゅう  
 令和2年度 第2学期終業式 校長の話 (小中)

みなさん、こんにちは。2学期の最後の日に

なりました。

みなさんは、毎日、元気に、笑顔で登校し、勉強  
 や運動、あそびなどに一生懸命頑張っていました。  
 とても素晴らしいと思います。校長先生から、  
 みんなに、頑張り賞の気持ちを贈ります。



そして、この後、教室でもらう「あゆみ」や「通知表」には、  
 一人一人が2学期に頑張ったことがたくさん書かれています。家に  
 帰って家族と一緒に読んで、たくさん褒めてもらってください。

2学期を振り返ってみましょう。10月に小学部6年生  
 の修学旅行がありました。久留米の青少年科学館や  
 大刀洗平和記念館や太宰府の国立博物館で、科学や  
 歴史や平和学習をしました。また、柿狩りや太宰府遊園地で  
 楽しみました。



11月は中学部3年生の修学旅行でした。柳川の  
 川下り体験やウナギの昼食、小石原焼の陶芸  
 体験、筑後川の山田堰の調べ学習をしました。そし  
 て、着物を着付けて秋月城を散策し、太宰府天満宮  
 参拝をしました。様々な体験や学習や食べ物が  
 詰まった修学旅行でした。



そして11月14日土曜日には、大きな行事である学習発表会があり、日頃の学習の様子を発表してくれました。皆の笑顔、発表会に臨む真剣な眼差し、自信に満ちた堂々たる演技や演奏、どれも最高でした。参加したお客様からもたくさんの拍手と「とても良かった」とお褒めの言葉をいただきました。



一つの行事に向けて、学校みんなで頑張り、大成功の学習発表会になったと思います。これからも、みんなで力を合わせて、大成功をたくさん作っていきましょう。

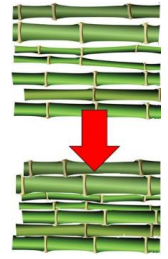
さて、竹の話をしていきましょう。竹の中は、空洞になっています。そして、竹には、たくさんの節があります。だから、竹には良いところがたくさんあります。軽いこと、加工しやすいこと、曲げても強いこと、束ねると丈夫になることなどです。



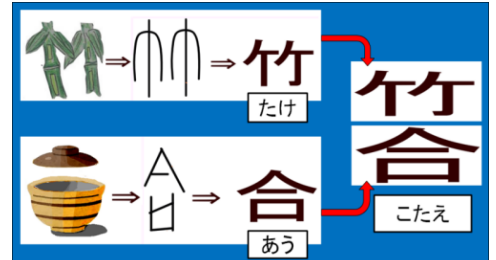
その竹の良さを生かして、昔から、いろいろな形に加工されて、いろいろなものに利用されてきました。ざるやほうき、いすやついたて、堤防や家の材料です。戦国時代には、武器として使われていました。竹を材料にした家を作っている地域もあります。




竹は束ねると丈夫になるという話をしましたが、実は、束ねるのは難しいのです。それは、節が、出っ張っているからです。そこで、節の位置をずらしたり、上手く合うように竹を入れ替えたりして、いろいろ工夫して束ねます。



漢字の勉強をしましょう。竹の字は、竹林の絵からできました。どんぶりとふたからは、合うという漢字ができました。この2つの漢字を合体するとさて、何という漢字になりますか？  
そうです。「答」です。



「どうしようかな。どうなるかな。ためしてみよう。」と、「竹」を「合わせる」ように、いろいろなやり方を考えることや、たくさん試してみることが大切です。



- ・どうしようかな。
- ・どうなるかな？
- ・ためしてみよう！

どうしようと「竹」を「合わせる」ように

- ・いろいろなやりかたをかんがえる。
- ・たくさん ためしてみる。

いろいろな **答え** を  
みつけてください。

皆さん、いろいろな「答え」を見つけてください。

校長先生は、2学期のはじめに2つの目標を皆さんに出しました。「最後まであきらめない」「のびのびと楽しむ」でした。日頃の学習や生活の様子や、たくさんの行事の様子を見てみると、この2つの目標は、しっかりできているなと感じています。皆さんよく頑張りました。これからもいろいろなことに、全力で、楽しんで取り組んでください。

さて、明日から冬休みです。年末、年始は楽しい行事がたくさんあります。小学生と中学生は宿題もあります。家族や親戚の方と楽しく充実した時間を過ごし、3学期の始業式も、みんなが元気に登校してくるのを待っています。



これで、校長先生の話が終わります。

